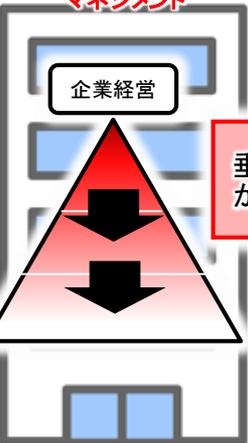


# 管理職に求められるプロジェクト管理能力 ~シナジー効果が組織を成長させる! ~



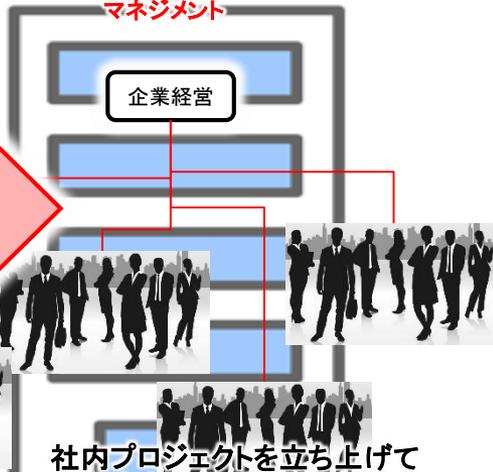
従来: トップダウンによる  
マネジメント



企業の変化

垂直型のピラミッド型組織  
からフラット型の組織へ

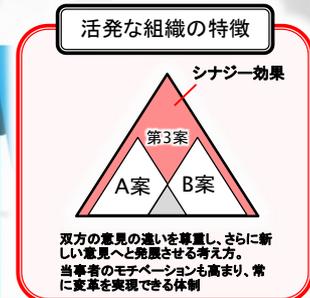
主流: プロジェクトチームによる  
マネジメント



社内プロジェクトを立ち上げて  
仕事をやるケースの急増

プロジェクト型の仕事の進め方を身につけることは  
管理職にとって必須条件

プロジェクト成功の成否でその人の管理者としての能力が  
問われる時代



妥協することで進む組織ではなく、違いを尊重し、  
乗り越えることで新しい考えを生み出すリーダーが必要!

プログラムは6人1グループとなり、2つの課題に取り組みます。

当社のプログラムでは、プロジェクトマネジメント(PPS)+チームビルディング(GSI)のプログラムを活用し、貴社管理職に求められるプロジェクト管理能力の醸成を実現します。

目的	プロジェクト管理能力の醸成
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト進捗管理(PDCAによる理論的な構成)の能力が身につきます</li> <li>チームの問題点を洗い出し、効率的なチームへの変革を行います</li> <li>シナジー効果の意味を理解し、よりよい問題解決の手法を身につけます</li> </ul>
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職および管理職候補の方</li> <li>1回の研修につき、18名ほど(6人/グループ×3グループ)が理想。</li> </ul>
時間	5.5時間/回(休憩含まず)

プロジェクト計画状況(Project Planning Situation: 以下『PPS』)

- ① プロジェクトを進行するために必要な20の項目をランダムに出題。全体のプランニングプロセスとしてそれらの正しい順番を決め、進行方法を意思決定する。
- ② 個人作業...ランダムに並んだ20の項目を適切な順番となるように並び替える。
- ③ グループ作業...自分の出した答えをもとに、同じテーマをグループ内で議論し、グループの答えとして20の項目を適切に並び替える。
- ④ グループ回答後、正解の表示。正解と回答の誤差を検証し、グループになることでシナジー効果を発揮できたか(個人よりもよい意思決定ができたか)を検証。



グループ・スタイル・インベントリー(Group Style Inventory: 以下『GSI』)

- ① グループのメンバーが『プロジェクト計画状況』の答えを導き出す過程で、如何に効果的に議論できたかを12の軸を用いて採点、円環図表に表示する。
- ② チームビルディングで体験したことをその場でお互いにフィードバックし、グループの特性や問題点を洗い出す。



なぜこのプログラムが高い効果を発揮するのか?

1. 多くの体験型プログラムや組織診断ツールはそのほとんどが作業後、一定の時間を置いたうえで結果が出るため、効果として薄くなりがちです。しかし、PPSとGSIは実施後その場で結果がわかることから、参加者同士でフィードバックが可能であり、深い理解と高い効果の定着が期待できます。
2. グループ作業がどの程度効果的なものであったかを理解することができるとともに、個人(自分)の関わり方についても理解が進みます。この体験を活かし、今後関わるプロジェクトを効果的に運営し、成果をあげることができるようになります。
3. また、GSIによって書かれる円環図はその性質上、効率の良かったグループ、悪かったグループのそれぞれの項目を比較し、シナジー効果を生みやすい、理想のグループの形を理解することができます。

詳しい情報は...[こちらをクリック](#)  
またはお電話03-3257-8848 まで